



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会社名 サン 電 子 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 山口 正則
 (コード番号 6736)
 問合せ先 取締役執行役員
 経理兼経営企画担当 山本 泰
 電話 0587-55-2201

平成 30 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 の 差 異 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 29 年 5 月 12 日に公表しました平成 30 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結
 業 績 予 想 数 値 と 本 日 公 表 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 値 に つ き
 ま し て も 、 下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で 、 併 せ て お 知 ら せ い た し ま す 。

記

(金額の単位:百万円)

1. 平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値の差異

(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	12,000	△1,200	△1,400	△1,200	△53円29銭
実績(B)	12,639	△738	△763	△607	△26円95銭
増減額(B-A)	639	462	637	565	—
増減率(%)	5.3	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	11,274	△65	△190	△238	△10円60銭

2. 平成30年3月期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	26,000	200	△100	△200	△8円88銭
今回発表予想(B)	24,000	△1,500	△1,700	△1,200	△53円29銭
増減額(B-A)	△2,000	△1,700	△1,600	△1,000	—
増減率(%)	△7.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	24,698	141	△221	△581	△25円88銭

3. 差異及び修正の理由

① 平成 30 年 3 月 期 第 2 四 半 期

エンターテインメント関連事業において、新機種に係るパチンコ制御基板の販売が好調に推移したことに伴い、売上高は計画を上回ることとなりました。営業利益・経常利益につきましても、同様の理由により、計画を上回ることとなりました。また、特別利益として遊休資産であった IP アドレスの売却益を計上したことに伴い親会社株主

に帰属する四半期純利益につきましても、計画を上回ることとなりました。

② 平成 30 年 3 月期

売上高につきましては、モバイルデータソリューション事業のうち、デジタル・インテリジェンス事業については、主要市場である米国において、機器及び関連サービスの販売がほぼ計画通りに推移する見込みであります。モバイルライフサイクル事業については、データ移行の需要減少の影響を受けたことに加え、新規サービスの導入に係る競合状況の激化等の影響により特に需要期として下期に売上を見込んでいた計画を下回ることとなりました。

エンターテインメント関連事業のうち、パチンコ制御基板については、新機種に係る制御基板の導入がほぼ計画通りに推移する見込みですが、ホールシステムについては、規制等による依存症対策の影響により、パチンコホールの設備投資への意欲が減退し、新規出店及び店舗改装を先送りする傾向が継続していること等を十分に考慮した結果、計画を下回ることとなりました。

その他事業のうち、AR事業については、スマートグラス「AceReal」の製品化に向けて開発を強力に推進しておりますが、お客様との実証実験等のフィードバックを開発に十分に反映させるため開発期間を延長したことから、それに伴い販売開始時期が当初の見込みより遅れたことにより計画を下回ることとなりました。また、VR事業についても同様に、ソニープレイステーションVR向けのゲームコンテンツ「DARK ECLIPSE(ダーク・エクリプス)」について、販売戦略の変更に伴うゲームの作り込みを行い、開発期間を延長したことから販売開始時期が当初の見込みより遅れたことにより計画を下回ることとなりました。

また、利益につきましては、上述のとおり売上高が計画未達となる見込みとなることに加え、その他事業に係る開発費が期初計画を上回る見込みとなったことに伴い、利益も計画を下回ることとなりました。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。業績予想には様々な不確定要素が含まれており、実際の業績は、予想数値と大幅に異なる可能性があります。

以上